

技術開発の方向性に即した自動運転の段階的実現に向けた調査研究
海外視察要領（案）

資料 4

	ドイツ	オランダ	フィンランド
日程（予定）	平成29年10月～11月目途		
実施者（予定）	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査検討委員会事務局 ・ 警察庁 ・ 藤原委員 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査検討委員会事務局 ・ 警察庁 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 調査検討委員会事務局 ・ 警察庁
訪問先候補	<ul style="list-style-type: none"> ・ Federal Ministry of Transport and Digital Infrastructure ・ Volkswagen ・ Audi ・ MAN 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ministry of Infrastructure and the Environment ・ Rijkswaterstaat, the Netherlands Vehicle Authority (RDW) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ Ministry of Transport and Communications
視察目的	<p>○ 本年5月、システムが要求した場合に運転者が運転操作を遅滞なく引き受ける自動運転車（SAEレベル3相当）（※）の実用化に向けた関係法令が改正されたことから、法改正の具体的内容、実用化を目指すシステムの具体的機能、国際条約と国内法・自動運転機能の整合性に関する考え方、今後の制度整備の方向性や課題等について、行政機関や自動車メーカーから聴取する。</p> <p>○ 2018年からミュンヘン－ニュルンベルグ間で隊列走行の実証実験を行う予定とことから、トラックの隊列走行に関し、技術開発の状況や方向性、国際条約との整合性に関する考え方、今後の制度整備の方向性や課題等について、行政機関や実験実施主体から聴取する。</p>	<p>オランダが主導するEU Truck Platooning Challenge 2016プロジェクトとして、欧州6か国から公道をトラックが隊列走行し、ロッテルダムに集結するという大規模実証実験が行われたことから、トラックの隊列走行に関し、技術開発の状況や方向性、国際条約との整合性に関する考え方、今後の制度整備の方向性や課題等について、行政機関から聴取する。</p>	<p>SOHJOAプロジェクトの1つとして、2016年8月から、無人自動運転バスの公道実証実験を混在交通の中で実施していることから、実験の実施状況、国内法上の整理、国際条約と国内法・自動運転機能の整合性に関する考え方、今後の制度整備の方向性や課題等について、行政機関や実験実施主体から聴取する。</p>

※ ドイツでは、同国の自動車メーカー（Audi）が、SAEレベル3に相当する機能（時速60km以下の高速道路上の交通渋滞時応）を搭載した自動車を2017年に発売予定と公表。